

源泉徴収票の内容に異動がある場合の記載例

給与所得について年末調整を受けた方が、社会保険料控除、生命保険料控除、扶養控除（国外扶養親族）を追加する場合

（所得控除に追加する事項）

○社会保険料控除 国民年金基金 240,000 円 ○扶養控除 国税 一郎（子・所得 38 万円以下・〇〇国在住）
○生命保険料控除 旧個人年金保険料 100,000 円

国税庁HP 確定申告書等作成コーナーで作成できます。

なお、スマートフォンで申告することもできます（こちらをご覧ください。）。

○ 手順等については、記載例において表示している「令和元年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。

【第一表】

〇〇 税務署長 令和 2 年 2 月 17 日		令和 01 年分の 所得 税 及 び 復興 特別 所得 税 の 確定 申告 書 A		F A 0 1 1 4	
住所 〇〇市△△町X-X-X-X		個人番号 XXXXXXXXXXXXXX		マイナンバー（個人番号）を必ず記入してください。	
氏名 国税 太郎		フリガナ コクセイ タロウ		第一表（令和元年分以降適用）	
性別 男		市町支の氏名 国税 太郎		明治・「1」 大正・「2」 昭和・「3」 平成・「4」 令和・「5」	
生年月日 3 5 0 1 1 1 6		電話番号 XX-XXXX-XXXX		令和・「5」	
整理番号 1		申告主との続柄 本人		令和・「5」	
収入金額等 給与 ① 7 1 4 0 0 0 0		課税される所得金額 (5 - 20) ① 2 3 8 1 0 0 0		令和・「5」	
雑 公的年金等 ②		上の①に対する税額 ② 1 4 0 6 0 0		令和・「5」	
配 当 ③		配 当 控 除 (特定増収等) 区 生 産 金 等 特 別 控 除 ④ 0 0		令和・「5」	
一 時 ④		政 党 等 寄 附 金 等 特 別 控 除 ⑤ 0 0		令和・「5」	
給 与 ⑤ 5 2 2 6 0 0 0		災 害 減 免 額 ⑥ 1 4 0 6 0 0		令和・「5」	
雑 ⑥		復 興 特 別 所 得 税 額 (34 × 2.1%) ⑦ 2 9 5 2		令和・「5」	
配 当 ⑦		所得 税 及 び 復 興 特 別 所 得 税 の 額 (34 + 35) ⑧ 1 4 3 5 5 2		令和・「5」	
一 時 ⑧		外 国 税 額 控 除 ⑨ 0 0		令和・「5」	
合 計 (①+②+③+④) ⑨ 5 2 2 6 0 0 0		源 泉 徴 収 税 額 ⑩ 2 3 3 9 0 0		令和・「5」	
社会 保 険 料 控 除 ⑪ 1 3 1 3 1 9 6		申 告 納 税 額 納める税金 (40 - 41 - 42) ⑪ 9 0 3 4 8		令和・「5」	
小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除 ⑫		配 偶 者 の 合 計 所 得 金 額 ⑫ 3 8 0 0 0 0		令和・「5」	
生 命 保 険 料 控 除 ⑬ 1 2 0 0 0 0		雑 所 得 ・ 一 時 所 得 の 源 泉 徴 収 税 額 の 合 計 額 ⑬ 6 3 0 0 0 0		令和・「5」	
地 震 保 険 料 控 除 ⑭ 2 1 0 0 0 0		未 納 付 の 源 泉 徴 収 税 額 ⑭ 3 8 0 0 0 0		令和・「5」	
寡 婦 ・ 寡 夫 控 除 ⑮ 0 0 0 0 0 0		申 告 期 限 まで に 納 付 する 金 額 ⑮ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
勤 労 学 生 ・ 障 害 者 控 除 ⑯ 0 0 0 0 0 0		延 納 届 出 額 ⑯ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
配 偶 者 (特 別) 控 除 ⑰ 3 8 0 0 0 0		還 付 される 金 額 ⑰ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
扶 養 控 除 ⑱ 6 3 0 0 0 0		還 付 される 金 額 ⑱ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
基 礎 控 除 ⑲ 3 8 0 0 0 0		還 付 される 金 額 ⑲ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
⑥ から ⑱ までの 計 ⑳ 2 8 4 4 1 9 6		還 付 される 金 額 ⑳ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
雑 損 控 除 ㉑		還 付 される 金 額 ㉑ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
医 療 費 控 除 ㉒		還 付 される 金 額 ㉒ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
寄 附 金 控 除 ㉓		還 付 される 金 額 ㉓ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	
合 計 (⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓) ㉔ 2 8 4 4 1 9 6		還 付 される 金 額 ㉔ 0 0 0 0 0 0		令和・「5」	

○ 「(参考)給与所得の源泉徴収票」から第一表、第二表に転記する箇所を、番号(①～⑤)で表示しています。

- 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- 申告書は、黒いインクのボールペンで、強く記入します。※この手引きでは、記入した部分を便宜上青色で印刷しています。
- 2枚目は複写式の控えになっていますが、申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例①

縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例②

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

記入例③

8 0 0 0 0
7 0 0 0 0

【第二表】

令和 01 年分の 所得 税 及 び 復興 特別 所得 税 の 確定 申告 書 A

管理 番号 F A 0 0 6 8

手順1

9ページ参照

住所	〇〇市△△町X-X-X-X
氏名	コケイ タロウ 国税 太郎

手順2

10ページ参照

所得の内訳（所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額）			
所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	源泉徴収税額
給与	〇〇産業株式会社 〇〇区〇〇 X-X-X	7,140,000	233,900
		④	①
			③
			③

25ページ参照

③源泉徴収税額の合計額 233,900

雑所得（公的年金等以外）・配当所得・一時所得に関する事項			
所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

○住民税に関する事項

氏名	性別	生年月日	別居の場合の住所
国税 二郎	子	22・8・5	
個人番号			
個人番号			
個人番号			
個人番号			

手順6

27ページ参照

別居されている
控除対象扶
養親族の氏名
及び住所を記
入します。

給与・公的年金等に係る所得以外（令和2年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外）の所得に係る住民税の徴収方法の選択	給与から差引き 自分で納付
配当に関する住民税の特例	
非居住者の特例	
配当割額控除額	
寄附金（都道府県、市区町村分（特例控除対象））	条 例
税割控除（国庫等の国庫債券等、国庫債）	指定分
都道府県	市区町村
別居の控除対象配偶者・控除対象 扶養親族の氏名・住所	国税 一郎 〇〇国△△△

○所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
⑥ 社会保険料の計	1,073,196		
源泉徴収票のとおり			
国民年金基金	240,000		
合計	1,313,196		

新生命保険料の計	旧生命保険料の計
25,000	35,000
新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計
	125,000
介護医療保険料の計	
90,000	

□ 寡婦（寡夫）控除 （□ 死別 □ 生死不明 □ 離婚 □ 未婚遺）	□ 勤労学生控除 （学校名）
---	-------------------

氏 名

配偶者の氏名	生年月日	配偶者控除
明・大 昭・平		配偶者特別控除

個人番号

控除対象扶養親族の氏名	続柄	生年月日	控除額
国税 一郎	子	明・大 昭・平 10・8・30	63 万円

個人番号

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

個人番号	
------	--

第二表（令和元年分）の記入方法については、第一表に同じく提出してください。○国民年金保険料の支払状況などは、申告書（添付）に添付してください。

13 ページ参照

14 ページ参照

18 ページ参照

控除対象扶養
親族が国外居
住親族である
場合に○を記
入します。

○ 年末調整を受けた給与を有する方は、控除額が年末調整を受けた金額と同じ所得控除については、第二表の該当欄の記入を省略することができます。控除額が年末調整を受けた金額と異なる所得控除（記載例の場合は、追加する所得控除）については、第二表に必要な事項を記入してください。

配偶者（特別）控除又は扶養控除について、控除額が年末調整を受けた金額と異なるため第二表に記入が必要な場合には、控除対象配偶者等及び控除対象扶養親族のマイナンバー（個人番号）も記入する必要があります。

※ 記載例では、扶養親族の方は海外に居住されていることからマイナンバー（個人番号）をお持ちでないものと仮定しています。その場合は、空欄としてください。

○ 「住民税に関する事項」の「同一生計配偶者」の欄（※）及び「16 歳未満の扶養親族」欄については、記入の対象となる方のマイナンバー（個人番号）を記入する必要があります。

※ 申告される方の合計所得金額が1,000万円を超える場合で、同一生計配偶者がいるときに記入が必要です。

○ 居住者が確定申告において、非居住者である親族（「国外居住親族」といいます。）に係る扶養控除、配偶者（特別）控除又は障害者控除の適用を受ける場合には、その国外居住親族に係る「親族関係書類」及び「送金関係書類」を確定申告書に添付し、又は確定申告書の提出の際に提示しなければなりません。詳しくは、「令和元年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の38ページをご覧ください。

令和元年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受け る 者	住所 又は 居所	〇〇市△△町×-×-×										(受給者番号)																																					
												(役職名)																																					
												氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ																																					
												氏名 国税 太郎																																					
種 別					支 払 金 額					給与所得控除後の金額					所得控除の額の合計額					源 泉 徴 収 税 額																													
給与・賞与					内 ① 7 140 000 千 円					② 5 226 000 千 円					1 959 196 千 円					内 ③ 233 900 千 円																													
(源泉) 控除対象配偶者の有無等					配偶者(特別) 控 除 の 額 老人					控 除 対 象 扶 養 親 族 の 数 (配 偶 者 を 除 く 。) 特 定 老 人 そ の 他 人 従 人 人 従 人 人 従 人					16歳未満扶養親族の数					障 害 者 の 数 (本 人 を 除 く 。) 特 別 そ の 他 人 人 人 人					非居住者である親族の数																								
																														有 従 有 千 円 380 000																			
																														○ 千 円 1 人																			
社会保険料等の金額					生命保険料の控除額					地震保険料の控除額					住宅借入金等特別控除の額																																		
内 千 円 1,073 196					千 円 105 000					千 円 21 000					千 円																																		
(摘要)																																																	
生命保険料の金額の内訳					新生命保険料の金額 円 25,000					旧生命保険料の金額 円 35,000					介護医療保険料の金額 円 90,000					新個人年金保険料の金額 円					旧個人年金保険料の金額 円 25,000																								
住宅借入金等特別控除の額の内訳					住宅借入金等特別控除適用数					居住開始年月日 (1回目)					住宅借入金等特別控除区分(1回目)					住宅借入金等年末残高(1回目)																													
					住宅借入金等特別控除可能期間					居住開始年月日 (2回目)					住宅借入金等特別控除区分(2回目)					住宅借入金等年末残高(2回目)																													
(源泉・特別) 控除対象配偶者					(フリガナ) コクゼイ リョウコ 氏名 国税 良子 区分					配偶者の合計所得 0 円					国民年金保険料等の金額 円					旧長期損害保険料の金額 円																													
					個人番号																																												
控除対象扶養親族					16歳未満の扶養親族					(備考)					(フリガナ) コクゼイ ジロウ 氏名 ⑤ 国税 二郎 区分																																		
															1 個人番号																																		
															(フリガナ) 氏名 区分																																		
															2 個人番号																																		
															(フリガナ) 氏名 区分																																		
															3 個人番号																																		
															(フリガナ) 氏名 区分																																		
															4 個人番号																																		
未成年者					外国人					死亡退職者					災害者					乙欄					本人が障害者					寡 婦 寡 夫					勤 労 学 生					中 途 就 ・ 退 職					受 給 者 生 年 月 日				
元 明 大 昭 平 年 月 日					就職 退職 年 月 日					就 職 年 月 日					元 明 大 昭 平 年 月 日					元 明 大 昭 平 年 月 日																													
支 払 者					④ 住所(居所) 又は所在地 〇〇区〇〇 ×-×-×					氏名又は名称 〇〇産業株式会社 (電話) ×-×-×-×-×-×-×-×-×																																							

(注) 平成31年4月1日以後に提出する申告書等については、源泉徴収票等の添付又は提示が不要となりました。なお、申告書等には、源泉徴収票等の内容を記載する必要があります。税務署等で申告書等を作成する場合には、源泉徴収票等が必要ですので、忘れずにお持ちください。

源泉徴収票の内容に異動がある場合の記載例